1. プリティア  
 指定された期間中、費用を気にすることなく特定のサービスを使用することができる。   
  
 - 三つのタイプ  
 ● 常時無料  
 : 有効期限が切れておらず、すべてのAWS顧客に提供  
AWS Lambdaでは毎月無料リクエスト100万件と最大320万秒のコンピューティング時間を使用することができる。  
Amazon DynamoDB では毎月25GB の無料ストレージが使用できる。  
  
 ● 12ヶ月無料  
 : AWSに初めて加入した日から12ヶ月間無料  
一定量のAmazon S3 Standardストレージ、月別Amazon EC2 コンピューティング時間限度、Amazon Cloud Front データ転送量がこれに含まれる。  
  
 ● 試用版  
 : 短期無料トライアル品は、特定のサービスを有効にした日から開始  
各評価版の期間は日数またはサービス使用量によって異なる場合がある。  
Amazon Inspectorは90日間の無料トライアルを提供  
Amazon Lightsail(仮想プライベートサーバーを実行できるサービス)は30日間750時間の無料使用時間を提供

2. AWS料金適用方式  
 - 実際に使った分だけ支払い  
  
 - 予約する場合、費用が減少->Compute Savings Planは1年または3年の間、一定使用量を約定する代わりにコンピューティング費用が割引  
  
 - 多く使用するほどボリュームベースの割引が適用され、コストが減少  
  
 1) AWS料金計算機  
   AWS料金計算機に必要なオペレーティングシステム、メモリ要求事項、入出力(I/O)要求事項など詳細情報を入力できる。  
 AWS料金計算機を使えば、AWSリージョンおよびEC2インスタンスタイプ別に予想費用を比較することができる。  
  
 2) AWS料金例  
 ● AWS Lambda  
 関数の要求数と関数の実行時間に基づいて料金が請求される  
 毎月100万件の無料リクエストと最大320万秒のコンピューティング時間が利用できる  
 Compute Savings Planは1年または3年の間、一定の使用量を約定する代わりにコンピューティング費用が割引される  
  
 ● Amazon EC2  
 インスタンスの実行中に使用したコンピューティング時間に対してのみ費用を支払う  
 一部のワークロードでは、スポットインスタンスを使用してAmazon EC2のコストを大幅に削減できる  
 ● Amazon S3  
 - ストレージ  
 使用したストレージに対してのみ料金を支払う  
  
 - リクエストとデータ検索  
 Amazon S3オブジェクト及びバケットに対して行った要求に対して費用を支払う  
  
 - データ転送  
 他のAmazon S3 バケット間でデータを伝送したり、Amazon S3で同一のAWSリージョンの他のサービスにデータを伝送するのにかかる費用はない。  
 しかし、Amazon S3 で送受信したデータについては費用を支払わなければならない。   
  
 - 管理と複製  
 アカウントのAmazon S3バケットで有効にしたストレージ管理機能に対して費用を支払う

3. 決済ダッシュボード  
 ログイン -> 請求検索 -> オプションクリック  
 - 今月の月間累計、最も多く使用したサービス  
 - 前月の金額、現在の金額及び予想金額  
 - 月間累計使用量のパーセンテージ  
 - 決済ツールにアクセス  
 - 請求書へのアクセス、リージョンごとに区切られた費用の確認

4. 統合決済  
 AWS Organizationsは統合決済オプションも提供  
 AWS Organizationsの統合決済機能を使用すると、組織のすべてのAWSアカウントに対する単一請求書を受け取ることができる。

5. AWS Budgets  
 予算を作成して、サービスの使用、サービスのコスト、およびインスタンスの予約を計画  
 AWS Budgetsで使用量が予算金額を超えたり超過すると予想されれば、知らせるユーザー指定通知を設定することもできる。  
  
 예) AWS Budgets  
 Amazon EC2 に対する予算を設定したと仮定すると、-> 会社のAmazon EC2 の使用量が毎月200 USD を超えないようにしなければならない-> AWS Budgets で使用量がこの金額の半分（100 USD）に達したときに通知するユーザ指定予算を設定することができる。

6. AWS Cost Explorer  
 時間の経過に応じてAWSのコストと使用量を視覚化、理解、管理できるツール  
  
例）Amazon EC2 インスタンスの6 つの元間の月別コストが表示-> 月間棒が多様なAmazon EC2 インスタンスタイプ（例:t2.micro またはm3.large）のコストを区分-> 時間の経過に応じてAWSコストを分析することにより、今後のコストおよび予算の策定方法について情報に基づいた決定を下すことができる。

7. AWS Support  
 問題を解決し、コストを削減し、AWSサービスを効率的に使用するのに役立つ4つのSupportプランを提供  
  
 1) Basic Support  
 すべてのAWS顧客に無料で提供  
 白書、説明書、およびサポート コミュニティへのアクセスを含む  
 AWSに決済に関する質問及びサービス限度の増加について問い合わせ可能  
 限定されたAWS Trusted Advisor検査にアクセス可能  
 ユーザーに影響を与える可能性のあるイベントが発生した場合、通知および修正指針を提供するツールであるAWS Personal Health Dashboardを使用  
  
 2) Developer  
 ● 模範事例指針  
 ● クライアント側診断ツール  
 ● AWS製品、機能、サービスを一緒に使用する方法についての指針で構成されたビルブロックアーキテクチャをサポート  
 例）会社がAWSサービスを探索すると仮定すると、ー>AWSサービスと一緒に使用して会社の要求事項を解決できるアプリケーションをビルドする方法が分からないー>ビルブロックアーキテクチャ支援を通じて特定のサービスと機能を結合できる機会を把握することができる  
  
 3) Business  
 ● 特定の要求事項を最もよくサポートできるAWS製品、機能、サービスを識別するための使用事例指針  
 ● すべてのAWS Trusted Advisor検査  
 ● 一般的なオペレーティング システムやアプリケーション スタック コンポーネントなどのサードパーティ ソフトウェアに対する限定的なサポート  
 例）Amazon EC2 インスタンスに一般的なサードパーティのオペレーティング システムをインストールすると仮定すると、-> オペレーティング システムのインストール、構成、および問題解決に対するサポートを要請することができる-> 性能最適化、カスタム スクリプトの使用、またはセキュリティ問題の解決といった高度な項目がある場合は、サードパーティ ソフトウェア プロバイダーに直接お問い合わせください  
  
 4) Enterprise On-Ramp  
 ● 事前予防的指針を提供し、プログラム及びAWS専門家へのアクセスを調整するTechnical Account Managerプール  
 ● 費用最適化ワークショップ(年1回)  
 ● 支払いとアカウントのサポートのためのコンシェルジュ支援チーム  
 ● Trusted Advisor及びHealth API/Dashboardを通じてコスト及び性能をモニタリングするツール  
  
 Technical Account Manager プールを通じて提供される特定事前予防的支援サービスセットへのアクセスも提供  
 ● 諮問検討及びアーキテクチャ指針(年1回)  
 ● インフライベント管理支援(年1回)  
 ● サポート自動化ワークフロー  
 ● ビジネスクリティカルなワークロードへの30分以下の応答時間  
  
 5) Enterprise Support  
 ●事前予防的指針を提供し、プログラム及びAWS専門家へのアクセスを調整する専担Technical Account Manager  
 ● 支払いとアカウントのサポートのためのコンシェルジュ支援チーム  
 ● 運用レビューおよびステータス監視ツール  
 ● 革新推進のための教育及びゲームデー  
 ● Trusted Advisor及びHealth API/Dashboardを通じてコスト及び性能をモニタリングするツール  
  
 Technical Account Managerを通じて提供される予防的サービスへの全体アクセスも提供  
 ● アドバイザリーレビューおよびアーキテクチャガイドライン  
 ● インフライベント管理支援  
 ● コスト最適化ワークショップとツール  
 ● サポート自動化ワークフロー  
 ● ビジネス クリティカル ワークロードへの 15 分以下の応答時間

6) テクニカルサポートマネージャ(TAM)  
 Enterprise On-RampおよびEnterprise Support プランには、テクニカルサポートマネージャ（TAM）へのアクセスが含まれています  
 TAMはAWS側の連絡窓口  
 AWSサービス全体にわたってクラウド旅行に対する教育、力量強化、改善を提供  
 専門エンジニアリング指針を提供し、AWSサービスを効率的に統合するソリューションの設計を支援し、費用効率的で復元力のあるアーキテクチャを構築することを支援し、AWSプログラムおよび広範囲な専門家コミュニティへの直接アクセスを提供します

8. AWS Marketplace  
 Independent Software Vendor(ISV)のソフトウェアリスティング数千個が含まれたデジタルカタログ  
 AWS Marketplaceを利用してAWSで実行されるソフトウェアを検索、評価、購入できる  
 インフラソフトウェア、DevOps、データ製品、専門サービス、ビジネスアプリケーション、機械学習、モノのインターネット(IoT)のような様々なカテゴリーの製品を提供